

台湾の“歳の市”「2014 世貿年貨大展」現地レポート

株式会社クララオンライン
コンサルティングチーム

台湾の台北世界貿易センターで2014年1月16日から22日にかけて「2014 世貿年貨大展 (TWTC NEW YEAR SHOPPING FAIR)」が開かれた。台湾版の“歳の市”ともいえるこのイベントは1月31日の春節(旧正月)を前に、年越し用の縁起物はもちろん、食品、雑貨、衣類、海産物、家電などあらゆるものが展示即売されており、入場は無料。主催者側の発表によれば、今回は現地の小売業者を中心に約300社が出展し、最終的な来場者数は延べ39万人、期間中の売上は3億元(約10.5億円)に達した。日本の食品を扱う店も数多く、日本台商協会のブースに並んだ日本産の青果や海産物、沖縄の物産品などに足を止める人も目立った。

1. なんでもありの歳の市！B2Cとしては初開催

このほど開かれた「2014 世貿年貨大展」は、台湾の対外貿易発展協会をはじめとする業界団体が主催するもので、世界最大のIT展示会・COMPUTEXの会場としても利用される台北世界貿易センター展覽館1館(世貿一館)の約半分を使って開かれた。



筆者は最終日の昼間に訪れたため来場者の多くは50代以上の女性や年配の夫婦だったが、会場スタッフによれば平日の夜間(昼12時から夜10時まで営業)は仕事を終わってから買い物に立ち寄る若者の姿が目立ったそうだ。特に土日は歩けないほどの混雑ぶりで、連日10万人近い人出があったという。どの店も2-3割引は当たり前で、「買1送1(1つ買えばもう1つプレゼント)」、「團購(共同購入割引)」といった表示があちこちに。また多くの店舗が自宅への配送サービスを行っており、お酒のような重たい物や壊

-1-

本レポートは、業界・企業に関する情報の提供を目的としたものであり、お客様の経営判断や購買、契約行為にあたってはお客様のご判断のもとに行ってください。本レポートは、クララオンラインが直接ご提供するという方法でのみ配布しておりますので、お問い合わせにつきましてはクララオンラインまでご連絡ください。本レポートのいかなる部分も、一切の権利は株式会社クララオンラインに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行うことを禁止いたします。なお本レポートに掲載されている第三者の企業名や商標、ロゴマークは個々の権利所有者に帰属します。また本レポートを日本国外で配布することは禁止いたします。

れやすい物はもちろん、日持ちしない食品を春節の数日前に届けてもらうよう手配する人の姿を良く見かけた。

2. 売り切れ続々、早い者勝ちの年末特売に大興奮！

最も出店数が多いのは食品を扱う店で、中には屋台がそのまま来たかのようなブースも。販売員が次々に味見を勧める元気な店には人だかりができており、特に牛肉や豚肉のジャーキー、鶏肉の加工品、ドライフルーツやナッツ類をまとめ買いする人をよく見かけた。ちまきや小籠包のような冷凍食品はその場で調理して熱々を味見させてくれるほか、ブース内で手作りしている肉団子や麺類にも長い列ができていた。



いたるところで湯気が上り、活気と喧騒に満ちた会場内はまるで夜市のよう

海産物では台湾名物のからすみ、フカフレ、干物、海藻などの乾物を扱う店が多かった。特ににぎわっていたのがカニを扱う店で、販売員によると南米チリ産の冷凍タラバガニを 5000 杯用意していたが 5 日目までに売り切れてしまい、残り 2 日間は 6 杯 999 元(約 3500 円)の石蟹を 8 杯 999 元にしたり、1 つ 888 元(約 3000 円)の冷凍タラを 3 つで 3 割引にしてお対応しているという。保冷バッグにまるで詰め放題のように次々とカニを詰め込む人もおり、贈答用も含めてかなりの注文が入っているそうだ。



カニがごろごろ

CLARA ONLINE Taiwan Business Report
2014.2.3

また酒類では、台北市酒類商業同業協会が市内の酒類メーカー10社の出店を後押しし、国内外で様々な賞に選ばれた高粱酒、茶酒、果実酒が勢揃いした。中には5万元(約17万円)を超えるものも展示されており、来場者の注目を集めていた。



贈答には台湾名物のお茶やパイナップルケーキのほか、しいたけなどの乾物、輸入菓子が人気

食品以外では、テレビや冷蔵庫、洗濯機などの大型家電、衣類、バッグや靴、家具、絵画、布団、化粧品、アクセサリ、ベビー用品、アウトドアグッズ、洗剤などの日用品までありとあらゆるものが売られていた。この日は最終日ということもあってどの店も最後の値引きをアピールしていた。またいわゆる便利グッズを販売するブースでは、マイクを付けた販売員が軽妙なおしゃべりで観客を巻き込む実演販売を行っており、焦げない鍋や小型ミキサーが飛ぶように売れていくのを目の当たりにした。



大型家電コーナーは人がまばら

タブレットやイヤフォンのオークションはすぐに人の山



聞くほどに欲しくなる魔法の話術・・・

健康に良い雑穀粉も実演販売

3. 日本ブースに立ち寄るのは若い人が中心

日本からは台湾貿易石見実行委員会、山口県中小企業団体中央会、日本台商協会がブースを並べており、沖縄物産のコーナーが特に賑わいをみせていた。島根県商工会議所などが運営する台湾貿易石見実行委員会は、県内の事業者から募った水産品を中心に扱っており、穴子のかば焼きやアカムツ(のどぐろ)の干物は早々に完売してしまったという。すぐ隣の萩焼を扱う山口県のブースでは、焼き物を手にとってじっくりと説明を聞く人の姿も。台商協会は、沖縄県のお菓子や食品のほか、青森から空輸したりんご、干しナマコや干し貝柱といった海産物、静岡茶などを扱っており、日本からのブースが並ぶこの一角は他に比べて若者が多く足を止めているように感じた。



年配の方よりも若い人が多い 生産地の観光情報などを尋ねる人も

- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンライン コンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします。また本書の内容は2014年2月3日時点で編集されたものであり、その時点の法律及び情報、為替レートに基づいています。

本書はクララオンライン コンサルティングサービスチームにより作成されたものです。クララオンラインの中国、台湾、韓国、シンガポールなどアジア各国のインターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0776